Creative Enzymes®

カスパーゼ-2

Cat. No. EXWM-4230

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	カスパーゼ-2は、カスパーゼ-8 (EC 3.4.22.61)、カスパーゼ-9 (EC 3.4.22.62)、およびカスパーゼ-10 (EC 3.4.22.63) と同□に、イニシエーターカスパーゼです。N末端の前ドメインにカスパーゼリクルートメントドメイン (CARD) を含み、これはプロカスパーゼの活性化に関与します。拮抗的な効果を持つカスパーゼ-2の2つの形態が存在します：カスパーゼ-2Lはプログラムされた細胞死を誘導し、カスパーゼ-2Sは細胞死を抑制します。カスパーゼ-2はカスパーゼ-3 (EC 3.4.22.56) またはカスパーゼ-3□プロテアーゼによって活性化されます。活性化はN末端前ドメインの切断を伴い、その後、プロカスパーゼ-2の大サブユニットと小サブユニットの間で自己プロテオリシスが行われ、さらに小さな断片へのプロテオリシスが続きます。プロテオリシスはアスパラギン酸残基で発生し、この酵素の好ましい基質はテトラペプチドではなくペンタペプチドです。自身を除いて、この酵素はゴルジ複合体に存在し、カスパーゼ-2に特有の切断部位を持つゴルジン-16を切断することができます。膜細胞骨格の成分であるαII-スペクトリンは、プロカスパーゼ-2の大きなアイソフォーム (カスパーゼ-2L) の基質ですが、短いアイソフォーム (カスパーゼ-2S) の基質ではありません。ペプチダーゼファミリーC14に属します。
別名	ICH-1; NEDD-2; caspase-2L; caspase-2S; 神□前□細胞発現発達下方調節タンパク質2; CASP-2; NEDD2タンパク質

製品情報

形態	液体または凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.22.55
CAS登□番号	182372-14-1
反□	P1におけるAsp残基の□格な要件があり、Asp316はプロテオリティック活性に不可欠であり、好ましい切断配列はVal-Asp-Val-Ala-Asp┼です。
備考	このアイテムはカスタム生産が必要で、リードタイムは5□9週間です。ご要望に□じてカスタム生産が可能です。

保管・発送情報

保存方法	短期間は +4 ℃ で保管してください。長期間保管する場合は -20 ℃~-80 ℃ で保管してください。